

マネジメントデザイン論Ⅱ アンケート⑦111111 <タイプ別 ①>

<タイプ1>

- ・原敬は今まで「はらたかし」だと思ってましたが「はらけい」が正しいのですか？
- ・原敬の歴史や著書を図解してみた面白かった。
- ・池波正太郎を図解したが、非常におもしろい人物だったので書きやすかった。
- ・原敬は今の政治家になき物を持っているのかと思い興味がわいた。芸術家よりも政治家のお話の方が自分のためになった気がします。
- ・池波正太郎は興味があります。本を読んでみたい。
- ・原敬の19歳から65歳まで83冊に涉って日記を書いていたのは凄い。
- ・原敬の図を書き、尊敬に値する立派な人物だと思った。
- ・商品ができるプロセスなどを図解してみたい。

<タイプ2>

- ・牧野富太郎について図を書いた。興味が出たのもう少し調べて見ようと思った。
- ・高校生の頃必死に首相の順番を覚えていたのを思い出した。
- ・原敬の図解を書いたが、うまくまとまりません。図解は慣れですね。
- ・原敬の図は書きやすかった。情報が多いと書きやすいと思った。
- ・人の図解に慣れてきた。
- ・図解が楽しくなってきました。
- ・日本史の授業で教わったことのある人物の名前がたくさん出てきて、興味深く楽しかったです。

<タイプ3>

- ・原敬の暗殺された所を是非今度見に行こうと思います。人物を図解するのは難しいです。
- ・大山康治の名言で「人が真似できない芸を持つことが一流」という言葉がすごく印象深かった。
- ・村野四郎について書いた。大学在学中に出版したものが一部も売れなかったのは驚いた。
- ・原敬や池波正太郎などの人物の内容が知れて歴史をもっと詳しくなりたと思った。
- ・毎回図を書くのが楽しみです。
- ・最近じわじわと偉人に興味がわいてきた。博物館に行ってみよう。
- ・原敬の図解を書いた。自分の図解の能力が上がっているのが分かった。
- ・図解表現を書くときすっきり文章が入ってきて分かりやすい。
- ・府中の森博物館本館に行っていたのですごく親近感を感じました。村野四郎の図解を書ける機会がもらえて嬉しかったです。
- ・池波正太郎の図を書いていたが、特に面白いのは食事の表現だった。このような文章が書ける人は現代ブログをやっていたら最高に面白だろうと思う。
- ・図解を書いているうちに偉人の考えが自分の頭に入ってくる感じがする。

<タイプ4>

- ・昔の人は偉大ですね。
- ・原敬について図を書いた。この人が首相としてすごい人だということが分かった。今の首相も見習ってほしい。
- ・同郷である原敬のことは、知っていたが、プリントや先生のお話を聞いて、新たな発見があった。また図にしてみると、原敬はグローバルな人だと感じた。
- ・偉人を見ていると、大きく分けて2つのタイプがあると思う。一つの道をずっと極め続けてきた職人タイプ、いろいろな経験や趣味を持つ雑食タイプ。池波正太郎さんはその2つの性質をどちらも持っていて面白い。
- ・偉人を紹介する図解作りは、新鮮で面白かった。
- ・共感する人物がたくさんいました。大山康治、原敬、中でも一番記憶に残ったのは池波正太郎。長年仕事を続けるだけでなく、趣味に生きたその「生き様」は見習いたいと思う。

<タイプ5>

- ・原敬という人物について詳しく知ることができた。
- ・最近は何にも慣れてきているのでスラスラかけて楽しい。今日は、雨で人数が少ないせいか、静かで集中できたのでよかった。
- ・なぜ原敬にかぎって暗殺されたのか知りたいです。他の首相は暗殺された話を耳にしなくていいので気になりました。
- ・村野四郎の、見事な戦略的な生き方は素晴らしい。
- ・後ろの人達が静かになった。できる人は、些細なことなども気づき、自分なりの目標、志を持っていると思った。
- ・原敬にとっても興味を持つことが出来た。
- ・池波正太郎の人間味は共感もてる。机に向かうのをためらったり、年賀状を自筆で書いたり、趣味をたくさん持っていたり、とても人間味のある人物だと思う。
- ・池波正太郎について図を書いた。色々な特徴がありおもしろいと思いました。
- ・大山康治について図解をした。本を書く人とは職は全く違うが名言など遺した言葉に通ずる物はあると感じた。
- ・池波正太郎を図解した。私が参考にしたいのは、段取り力と継続力である。個性的な人間になりたいからだ。
- ・池波正太郎に興味を持った。エッセイを読んでみたい。
- ・原敬の図を書いて、当時の大臣の顔ぶれに驚きを感じた。「でたらめ」を読んでみたいと思った。
- ・受験の時は暗記するのに必死で、一人一人の総理についてこんなに深く学ばなかった。今日は楽しかった。
- ・一番自分が知っている原敬について図解したが、知らない情報が意外と多かった。
- ・大山康治について図解を書いた。通算1433勝、歴代1位と知り、凄い人だと思った。一体何の勝負なんですか？

マネジメントデザイン論Ⅱ アンケート⑦111111 <タイプ別 ②>

<タイプ6>

- ・村野四郎さんは、有名な童話や曲を作詞していたと読んで、この人が作ったのかと驚き関心を持ちました。
- ・図解を書くのはとても力のいる作業だと思った。
- ・様々な文化人のルーツを知ること自分の視野が広がった感じがした。
- ・大山康治のように、ある事にここまでのめり込める人はあまりいないだろうと思った。ピカソの場合は、質ばかりで量はあまりない。だが大山康治はどちらも持っていて凄いと思った。
- ・この授業は一言で表すと何の授業ですか？また、この授業の目的は何ですか？春学期のマネジメントデザインⅠとの違いは何ですか？
- ・偉人のことを図にすると知らなかった人でもどんな人なのかすぐ頭に入ってきます。
- ・図を書く時間をもう少しほしいです。
- ・原敬について図解した。業績も偉大だが彼の政治に対する考え、意欲は他の人も見習うべき部分がたくさんある。暗殺されるまで最高の内閣を築いた彼に敬意を表する。

<タイプ8>

- ・大山康治という人物は図解をしていて向上心の塊だと感じました。
- ・原敬の一人の文章を見て図解したことにより、この人の偉大さを知った。
- ・原敬がどうい首相か知りました。19歳から65歳まで日記を続けるのは素直にすごいと思いました。

<タイプ9>

- ・池波正太郎のファンなので、図解できて良かった。
- ・原敬が政治家として凄いのは分かっていたが、一人の人間としても尊敬できる人だと思った。
- ・池波正太郎の図を書いたが、「鬼平犯科帳」を書いた人だとは知らなかった。
- ・集中力が必要な競技で40年以上も一線で活躍した大山康治は、良い性格でもあったため偉人であったと感じる。
- ・大山康治は知っていたので図解しやすかった。知らなかったエピソードから人柄が伺え興味深かった。
- ・大山康治の図解をした。「一時の栄光を求めより、長く続けることが大切」という言葉が印象に残りました。

<タイプ7>

- ・池波正太郎の鬼平犯科帳が大好きで小説もマンガもドラマも見ました。主人公の長谷川平造からは「男」を学べると思う。とても格好良く大好きです。
- ・原敬が好きですが詳しく調べたことはなかった。今度記念館へ行きます。日記にも目を通したいと思いました。
- ・リレー講座の寺島学長のお話が聞けなくて残念でした。
- ・井上ひさしはDVだったとは知りませんでした。ビックリしました。
- ・大山康治さんの称号は聞いたことがなかったのでよりすごさが伝わった。
- ・大山康治は将棋を通じて社会貢献をしていて素晴らしい偉人だと思った。好きな言葉を書くことを心がけています。
- ・偉人において共通して言えることは、自分の考えや気持ちを紙に書いて残すことだ。紙に書くことにより論理的な思考力が身につくのだと思った。心がけたい。
- ・池波正太郎に興味を持った。あさりのぶっかけと刺身と天ぷらのことしか読んだことがありませんが、とても美味しそうな感じが伝わったので素晴らしいと思った。
- ・偉人の話はおもしろいです。今後もいろいろなお話を聞きたいです。エニアグラムのプリントは毎回毎回当たっていて楽しいので次週も期待しています。
- ・原敬が近代最高総理と言われた理由はなんだろう？と思った。83冊の日記は素晴らしい。多くの業績を残せたのはこの日記のおかげなのかもしれない。

- ・池波正太郎を図解した。プライベートなことも良く分かった。
- ・大山康治の「人が真似できない芸を持つことが一流の条件である」という言葉に感銘を受けた。
- ・大山康治を図解した。素晴らしい功績を残した彼に興味を持った。
- ・村野四郎を図解した。この方の人生が良く分かった。
- ・図を書くコツがつかめてきた。歴史から、様々なことを学び取ろうとすることは大切だと感じた。もっと知識をつけたいので、本を読んで図解を書いて頭に入れたいと思いました。

<タイプ??>

- ・井上ひさしの本に興味をもった。池波正太郎は小卒にビックリした。牧野富太郎も小1で中退したにもかかわらず東大の教授をしていたなんすごいい。大山康治の言葉「賞はごほうびでなく、激励のしるしである」「一時の栄光を求めより長く続けることが大切」一つの事で満足するのではなく、さらに先をみているところを見ると、すごく向上心がある人物なのだと思った。村野四郎は詩人で卒業式で良く歌われる「巢立ちの歌」を作詞。自分も中学の卒業式で歌った。
- ・池波正太郎を図解し色々分かって良かった。
- ・原敬は凄い人。日記をしたいと思います。
- ・原敬の意志を突き通すところがすごいと思った。
- ・原敬を図解し深く知ることができた。日記を書き続け、後世に残し、我を突き通そうとする原敬は、格好良く、立派な人物だったと思いました。
- ・とても興味深い資料だったので楽しかった。
- ・牧野富太郎を図解した。書いていくにつれて世界的植物学者というのも分かった。
- ・原敬を図解した。女手一つで育てられたことは知らなかった。
- ・歴史の人の事が良く知れるので、とても為になります。
- ・少しずつ図解を書くのに慣れてきた。
- ・毎回図解の時間があつて、人物の解説もあつて、自分の為になる。
- ・毎回知らない人ばかりで難しいですが、気付くこと、勉強になることがたくさんとても楽しいです。
- ・府中の郷土の森には、子供のころよく行っていたが、また近いうちに訪れてみたい。
- ・大山康治の言葉は感銘を受けるものが多々あった。
- ・原敬はとても深い人ということを知りました。
- ・村野四郎の図解をした。だんだんコツをつかんできた。
- ・原敬の著書を読んでみたいと思った。復刻版が出ているそうで、日常生活が垣間見えるとのことだったので気になりました。意志の強さというのは本当に見習うべきものが昔に多いなと思いました。
- ・図解するとその人の人生がよく分かる。